



令和6年12月12日
臨時号

2024 ⑫
議会だより

オクトーバー

第3回 町民との意見交換会

11月24日（日）に茂来館にて、佐久穂町議会主催の第3回町民との意見交換会が行われました。町民の皆さまをはじめ、佐久穂小学校児童会・佐久穂中学校生徒会・佐久穂町在住の高校生など、約100名もの方にご参加いただきました。本当にありがとうございました。

当日、開会に先立って、佐久穂中学校吹奏楽部によるウェルカムコンサートが行われました。

開会、分科会説明ののち6分科会に分かれてそれぞれのテーマについて意見交換会が行われました。終了後、再びメリアホールに参集し、それぞれの分科会ごとのまとめが発表されました。お忙しい中ご参加いただいた皆様、本当にありがとうございました。



第3回町民との意見交換会には多くの皆様にご参加いただき厚くお礼申し上げます。

今回は「未来のために知る・備える」をメインテーマとし、6つの分科会を設け、活発な意見交換をすることができました。

今回の開催に当たっては、分科会導入説明の時間を短縮し、分科会の時間を長く設定するなどの配慮をしました。

議会では今回の意見交換会のような活動により、皆様からいただいた貴重なご意見を今後の議会活動に活かし、住みよい、また住みたいまちづくりに向け、活動を進めてまいります。

実行委員長 高見澤 敏幸

分科会には、北部消防署の高瀬署長ほか2名の消防士の方に参加してもらいました。参加者からは、日頃からの備えや、温暖化対策の影響についてなど、幅広い質問がありました。中には足腰が弱い一人暮らしの方から避難のことで心配しているとの質問があり、消防署の方より「こうした方の場合には民生委員・区長・常会長をはじめとする地元・近所の方に状況を把握してもらい、事前に支援をお願いしておくことが必要です」とのアドバイスをいただきました。他にも避難所の環境改善についてのご意見もあり、安全安心な避難所生活についても、あらためて大切な課題であると感じました。

第1分科会 自然災害から身の安全を守る準備は



分科会には、千曲病院事務長、保健師、理学療法士の方にオブザーバーとして参加してもらいました。事務長から佐久穂町は他町村と比べ筋骨系の疾患が多いと報告があり、寝たきりにつながり健康寿命を短くするとお話がありました。対策として宿岩地区の参加者からは「ヘルスの会」の活動の紹介がありました。毎月の例会には14名ほどが出席し学習や体操を行っているそうです。こうした取組を町に広げることが必要ですが、一方で男性の参加が少ないことが課題とのことでした。また、理学療法士からは、痛みを我慢してしまう人が多いとのこと、放置すると患部が固まってしまいうので、早めに医師に相談し、原因を探るべきと指摘がありました。

第2分科会 健康づくりを一緒に考えよう



第3分科会 魅力ある議会を どうつくるのか



町村議員選挙において、無投票や定数割れが増加傾向にあり、長野県の無投票は40%に上がり全国最高とのことです。この状況を踏まえたテーマですが、一般参加者6名と当議員2名での意見交換会になりました。参加者から現実味のある意見が多くあり、

その主なものとして、

- 立候補を考えている人のために現議員は早期進退表明をすべき。
- 若者や女性が出られる環境作り。
- 議会モニターやサポーターを設け立候補を促す。
- 議会の政策提言や広報をしっかりと行い議会への関心を高める。

など、参加者全員が忌憚なく意見を出され、有意義な意見交換会となりました。

第4分科会 魅力ある町づくり って何だ 一緒に考えよう



分科会には、農家や会社員、公務員、事業者など多様な職業の、元々の町民や転入して定住した町民など、多様な方々に集まっていたいただき、魅力あるまちづくりについて意見を交わしました。魅力あるまちづくりは、子育て世代も若者もシニア世代も、どの年代もが定住しやすい環境を、町や住民がどう整えるかがもっとも重要なこととの協議から、

- 快適な生活環境をととのえる
- 子育て教育・医療環境の充実
- 働く場所を如何に確保するか

の3つの定住対策の推進が必要であると、意見がまとまりました。協議では特に、賃貸住宅の不足や空き家活用対策などが論議されました。今後の町民交流会などでも引き続き議論を深めていく必要を感じました。

第5分科会 議員と お茶飲み話



第5分科会では、日ごろ行政に対するご意見を気軽にお話しいただくといった「お出かけ議会」の趣旨にのっとり、座談会形式での開催となりました。

参加者の皆さんからは主に

- オーガニック給食について
- 少子化対策の周知について
- 行政運営における疑義と報告義務について
- 町づくりの要望

など多岐にわたり話し合うことができました。

今後も皆さんのご意見を聞くことのできる議会運営に努めるとともに、お出かけ議会でより多くの皆さんとお話ができることを望みます。

第6分科会 故郷を知る 備える (児童生徒対象)



小学生1、中学生3、高校生等1の計5グループで、新しくできた道の駅八千穂高原でやりたいイベントを出し合いました。ゲストに道の駅駅長である林さんをお招きし、それぞれのグループで佐久穂町が盛り上がるイベントを3つずつ練り上げました。毎月異なる競技をする「しらかばチャンピオン」や巨大しらかばちゃんを作って燃やす「売買(Brebye)しらかばちゃん」、しらかばちゃんと町長がプロレスをする「しらかばプロレス」、「警察から逃げろ! ゆるキャラどきどき国道スキ」など佐久穂の子どもたちにとって、しらかばちゃんが身近な存在となっていることがわかりました。

また一方で、野菜に関する企画や政治家を呼ぶ企画なども考えられ、佐久穂の特産物や政治にも関心が高いことがわかりました。